

## 第19回 International Solving Contest (ISC) 報告

今年で第19回目となる毎年恒例のISCは、1月29日に東京大田区の大田区産業プラザPiOにて開催されました。なお、今年から日本チェス連盟（NCS）の共催をいただいています。

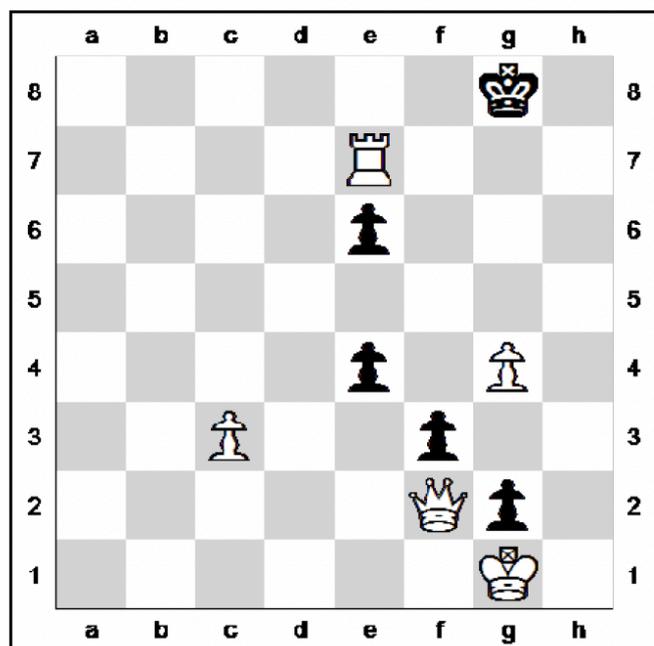
参加者は19名で、カテゴリー1が15名、カテゴリー2が2名、カテゴリー3が2名でした。特に、インドから2名、中国から1名の参加があり、国際色豊かな競技会になりました。



カテゴリー1では、黒川智記さんが第1ラウンドで25/30点という高得点を叩き出し、初の1位となって、青嶋未来さんの連覇を阻みました。また、初参加の松山紘也さんが3位に入賞を果たし、今後の活躍が期待されます。

特筆すべきは、カテゴリー3で昨年に続いて参加した井上聡美さんが20/30点の好成績を収めたこと。昨年は#2の1問だけの5/30点でしたから、飛躍的な伸びです。特に、#3を完答したのがおみごと。問題を掲げておきますので、解いてみてください。

5.



#3

5 + 5

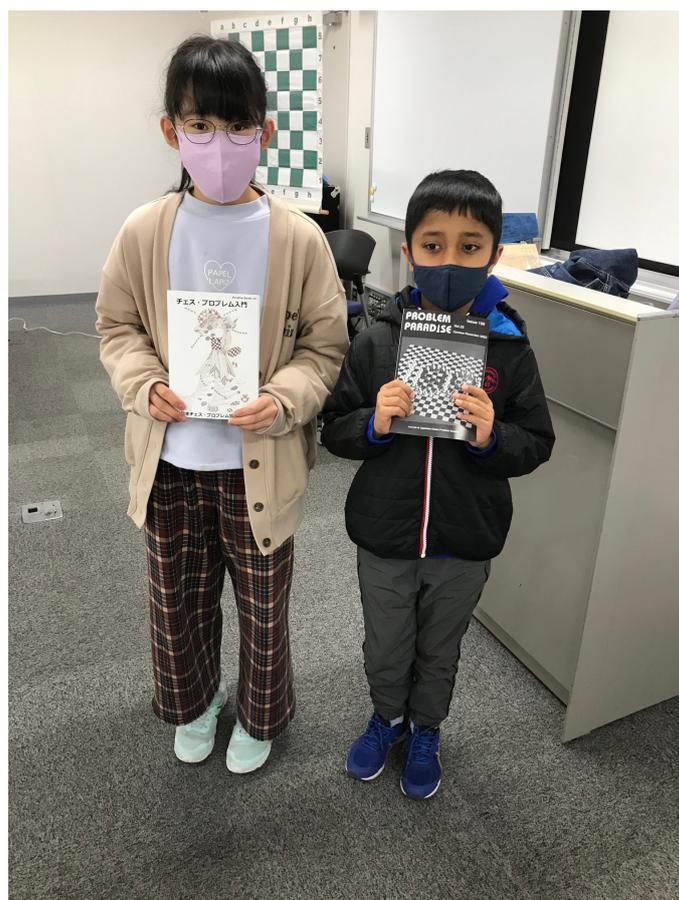
東京会場での成績は、次の表のとおりです。エンドゲームでの採点基準が見直されたため、当日に発表した成績が訂正されています。

19. INTERNATIONAL SOLVING CONTEST																			
29 JANUARY 2023														"0"=wrong solution					
RESULT																			
(Japan - Tokyo)																			
Cat	Name	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	TOT.	Time Rd 1	Time Rd 2	TIME	PLAC	
1	黒川智記	5	5	5	2	5	5	5	4	0	-	2.5	5	43.5	120	120	240	1	
1	青嶋未来	5	4	5	3	-	-	5	5	5	5	2.5	-	39.5	120	120	240	2	
1	松山紘也	5	1	-	2	-	2.5	5	5	-	5	1.25	0	26.75	120	120	240	3	
1	松尾朋彦	5	-	-	3	-	-	5	4	-	5	3.75	-	25.75	120	120	240	4	
1	鈴木知道	5	5	-	1	2.5	-	5	3	-	0	2.5	0	24	120	120	240	5	
1	塩見 亮	5	0	0	1	-	-	5	4	-	5	3.75	-	23.75	120	120	240	6	
1	太刀岡甫	5	3	0	-	-	5.0	5	-	0	-	5	0	23	120	120	240	7	
1	真鍋 浩	5	1.5	0	1	-	-	5	2	0	-	5	-	19.5	120	120	240	8	
1	前嶋啓彰	5	2	0	0	-	5	5	0	0	0	-	0	17	120	120	240	9	
1	中村龍二	5	1	-	2	-	-	5	-	0	4	-	-	17	120	120	240	9	
1	松崎直樹	5	1.5	-	0	-	-	5	4	-	-	1.25	-	16.75	120	120	240	11	
1	井上徹也	0	2	-	-	5	0	5	-	-	0	3.75	0	15.75	120	120	240	12	
1	中嶋正和	5	3	0	2	-	0	5	0	0	0	-	-	15	120	120	240	13	
1	長瀧航太	5	1	-	1	-	1.25	5	-	0	1	-	0	14.25	120	120	240	14	
2	Shiven Garg	-	-	0	-	0	0	5	0	0	0	0	2.5	7.5	120	120	240	1	
2	賈 雲茜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	120	240	2	
3	井上聡美	5	5	5	0	5	1							21	120		120	1	
3	Vivaan Garg	0	0	0	0	0	1							1	120		120	2	

0 pts per  
round =  
120 min



カテゴリー 1 入賞者のみなさん



カテゴリー 2 および 3 の入賞者のみなさん

今年は26カ国で、延べ601名の参加がありました。その結果は、次のサイトに掲載されています。<https://www.wfcc.ch/competitions/solving/isc2023/>